

—ロボットが人の「生活」となる—

遠隔・非接触・非対面サービスとしてロボットがますます注目を集める中、ロボットカフェや福祉・医療の現場で活躍するような、人の生活に近い場面などで自然に共存ができるロボットも必要とされています。

今回の第2部では交流会とし、京都にゆかりのある企業の開発事例を紹介しながら、人の「生活」となるロボットの可能性について意見交換を行います。本交流会を通してロボットの開発と新たな連携を生み出すことを目指します。

参加費
無料

『HubROBO (ハブロボ)』

人と共存するロボット
について考え、
一緒に創るアカデミー

- 日 時 第2部 交流会 2022年3月25日(金) 14:00~16:30
- 会 場 けいはんなロボット技術センター (KICK)、オンラインによる同時開催
- 参加者 ロボットの研究・開発に取り組む企業、研究機関等 定員：30名程度



1 けいはんなロボット技術センターの紹介 京都府ものづくり振興課

2 京都ロボットの開発事例の紹介

【医療現場での挑戦】

- ・ AIロボットによる新しい認知機能トレーニング法
(株)ハタプロ 代表取締役 伊澤 諒太

【製造現場での挑戦】

- ・ 誰でも使用できる自律移動ロボット「Keigan ALI」
(株)Keigan 代表取締役 徳田 貴司
- ・ 熟練技術者の模倣から改善まで行うAIソフト
～結晶成長シミュレータの例～
(株)Anamorphosis Networks 代表取締役 炭谷 翔悟
- ・ ロボットシステムにおけるPLCレス化
(株)T-ROBO 代表取締役社長 林 弘幸



講師

伊澤 諒太 氏

株式会社ハタプロ 代表取締役
2010年にAI(人工知能)ロボットメーカーのハタプロを創業。
16年にNTTドコモと提携、18年に官民連携の合弁会社を設立。
以降、複数のハードウェア・スタートアップ設立に携わる。
近年は医工連携事業への投資や医療機関との共同研究に注力し、様々な大企業と新たなAIロボットの開発や事業を共創している。

3 参加者による交流会 パネルディスカッション

お申込み方法

URL・QRコードからお申込みください

<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=47021>
申込締切：2022年3月24日(木)



一次世代ロボット等の開発・実証のため、中小企業・ベンチャー・研究機関等が共同利用できる拠点

屋内大空間に研究開発用ロボットや測位機器等を備え、ロボットの自律システム、人とロボット、ロボットどうしの協調システムをはじめ、暮らしや生産性の向上に資する様々な次世代ロボット技術の開発、導入を支援します。〈けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) 1F〉

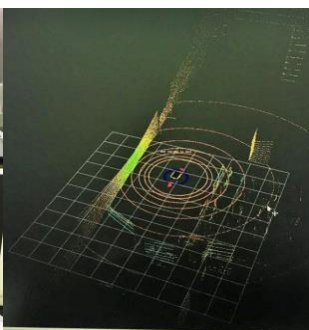
床面積1,500平方メートル、天井高5mの大空間、5G基地局整備
一貸出・持込ロボット等を走飛行させながら、その場で開発・実証可！

高精度モーションキャプチャ、ヘッドマウントディスプレイ等を装備
一開発中のロボットの測位・動作検証、CG・VR等の製作等に！



研究開発用ROS対応走行ロボット、ドローン等を装備 一自律ロボットシステム、人とロボットの協調システム等の開発・実証等に！

活用事例



自律移動ロボット開発

モーションキャプチャーによる測位



ロボコン出場に向けた練習

ドローンレースやゲームジャムの開催



各種勉強会の開催

詳細はホームページをご覧ください

<http://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/robotcenterkyoto.html>

